

株主のみなさまへ
..... Vol.46

株 主 通 信
第 1 1 1 期

2017年1月1日～
2017年12月31日



SHIMANO

表紙:2017年7月 第104回ツール・ド・フランス第10ステージの様子 表紙写真撮影者:Cor Vos

SHIMANO



代表取締役社長 島野 容三

事業の経過及び成果

当連結会計年度におきましては、欧州では、輸出の増加により企業の投資マインドが上向いたことや雇用環境の改善と個人消費の回復が続いたこともあり、景気は回復基調を辿りました。米国では、2つの大型ハリケーンによる影響で個人消費に一時的な影響が見られたものの、良好な雇用環境と消費者マインドの向上が牽引し、景気は緩やかな拡大が続きました。

国内では、堅調な雇用環境が個人消費を下支えし景気は緩やかな回復基調を辿ったもののその足取りは力強さを欠きました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよるこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしまりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は335,800百万円（前年同期比4.0%増）となりました。また、利益面につきましては、

営業利益は64,351百万円（前年同期比0.3%減）、経常利益は55,748百万円（前年同期比20.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は38,443百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

自転車部品

欧州市場では、完成車の店頭販売は年初来やや軟調でしたが、上半期以降は持ち直し前年並みの結果となるとともに、市場在庫は適正なレベルを維持しました。

北米市場では、店頭での完成車販売に力強さを欠き前年並みとなったものの、市場在庫はやや低めとなりました。

中国市場では市場在庫は適正なレベルを維持したものの、低価格帯完成車の店頭販売が低迷した結果、店頭での完成車販売は前年を下回りました。

他の新興国市場では、完成車の店頭販売は東南アジアでは前年並みでしたが、南米、特にブラジル・アルゼンチンでは回復が見られました。ともに市場在庫は適正なレベルで推移しました。

日本市場では、スポーツタイプ自転車及び軽快車ともに店頭販売は精彩を欠きましたが、市場在庫は適正なレベルを維持しました。

このような市況のもと、2016年末から出荷を開始したロードコンポーネント最高峰「DURA-ACE」の電動変速DI2バージョン及びE-MTB用ドライブユニット「SHIMANO STEPS」E8000シリーズの販売が好調でした。また、2017年5月に発売したマウンテンバイクコンポーネント「DEORE」、6月に発売したロードバイクコンポーネント「ULTEGRA」はともに堅調な販売を維持し、さらに8月に発売した「ULTEGRA」の電動変速DI2バージョン及びディスクブレーキを搭載した追加モデルも好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は270,206百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は57,410百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

釣具

日本市場では、天候が一年を通し比較的安定したこともあり、市場の動きは堅調に推移しました。

海外市場において、北米市場では2つの大型ハリケーンが2大市場であるテキサス・フロリダを直撃し大きな影響を受け、また欧州市場では上半期市場を牽引してきた英国や主要市場であるドイツ・イタリアで店頭販売が不振に陥り流通在庫が増加しました。豪州市場では、釣りシーズンのスタート遅れや大手チェーン店での不振はあったものの、下半期には落ち着きを取り戻し堅調に推移しました。一方、アジア市場では、中国・韓国市場が前年に続き好調に推移し、東南アジア市場も景気回復基調が鮮明となりました。

このような市況のもと、日本ではルアー関連製品をはじめとした様々な新製品の販売が堅調であった結果、売上は前年を上回りました。海外では市況の影響を受けた北米等での販売に勢いが欠けたものの、アジア市場での販売が好調であったことから、全体としての売上は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は65,220百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は7,013百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は373百万円（前年同期比6.5%減）、営業損失は72百万円（前年同期は営業損失170百万円）となりました。

期末配当のご報告

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、今回の期末配当金につきましては、前

年同期と同額の1株当たり77円50銭（うち特別配当71円25銭）とさせていただきます。これにより当期の年間配当額も前期と同額の1株当たり155円となりました。

なお、次期の配当につきましては、1株当たり年間配当額155円（中間配当金77円50銭、期末配当金77円50銭）を予定しております。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、欧州では、雇用環境の改善による個人消費の回復が持続する見通しの中、景気回復の牽引役だった輸出がユーロ高の影響を受け鈍化する可能性も考えられます。米国では、税制改革による企業の投資マインドの向上や良好な雇用環境を背景とする個人消費の回復が景気を下支える一方、世界的紛争リスクの高まりと米国内の内政の混乱が景気に水を差す懸念があります。

一方、国内では、底堅い内外需を背景に景気回復基調は持続すると見込まれるものの、朝鮮半島・中東における地政学的リスクの高まりに伴うマーケットの混乱や米国の政策の行方次第では景気への影響を無視できないものと思われれます。

このような経営環境の中、当社グループは、国内外の経済動向に注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進してまいります。

その結果、平成30年12月期の連結業績予想は以下のとおりといたします。

	平成30年12月期	前年同期比(%)
売上高	3,500 億円	4.2
営業利益	670 億円	4.1
経常利益	670 億円	20.2
親会社株主に帰属する当期純利益	472 億円	22.8

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年3月

2017年3月、大阪府堺市西区において、シマノ製品の物流を一手に担う拠点となる「臨海ロジスティクスセンター（RLC）」が稼働を開始しました。今回は、このRLCについてご紹介します。



RLC新設の目的

お客様からご満足いただけるシマノ製品とサービスをお届けするために、これまで自転車部品事業と釣具事業で分散していたシマノ製品を集約し、物流業務の効率化とサービスレベルの向上を目指しました。

シマノの物流業務の中心的な役割を担うRLCでは、物流機能の集約や自動搬送装置の導入により、配送時間の短縮と物流における作業効率の向上が実現できる態勢が整い、堺の本社工場で製造されたシマノ製品を日本全国はもとより海外のお客様へお届けしております。

■概要

所在地：堺市西区
 建築面積：8,960.78㎡
 延床面積：17,581.70㎡
 敷地面積：51,679㎡
 構造：鉄骨造(地上3階)／耐震(一部免震架台有)

RLCの特徴

最新鋭の自動搬送装置を導入したことにより、製品をトラックから倉庫へ直接入庫、また入庫時に自動で製品データを読み取り仕分けを行う等、入庫業務が効率的となりました。

地震時の設備停止リスクの低減及び安全性向上のため耐震構造（一部免震架台有）を採用し、お客様へシマノ製品を安定的にお届けできるように設計されています。



今後に向けて

シマノ製品をお客様へ安定してお届けすることはもちろん配送時間をさらに短縮させるため、RLCに導入した設備のフル活用や自転車部品事業と釣具事業の集約結果に伴う物流梱包資

材の共通化等、物流業務の効率化と合理化を促進させ、お客様サービスの向上に努めてまいります。

『より自転車らしいE-BIKEでもっと自由な週末を。』 日本市場向けアシストバイクコンポーネントE8080登場

2018年、アシストバイク（E-BIKE:電動アシスト自転車）コンポーネントE8080シリーズを、シマノとして初めて日本市場へ投入します。

E8080シリーズは、2016年から欧米向けアシスト付きマウンテンバイク用コンポーネントとして販売しているE8000シリーズをベースとし、日本市場向けにスポーツ・ライフスタイルバイク用としてアレンジしたものになります。

ベースとなるE8000シリーズは、その高い動力性能と本来の自転車に近い自然な乗り味がスポーツアシストバイクの本場である欧州において高い評価を受けています。その高いポテンシャルを引き継ぐE8080、日本においてもスポーツアシストバイクという新しいジャンルを創造していきたいと思っています。



・効率の良いペダリングのためにマウント設計も従来型より新しました。

E8080 series Drive Unit DU-E8080

・よりコンパクトで軽量なユニットを実現しました。ペダル軸寸法はDEORE-XTと同程度です。

・クイックなハンドリングを実現させるためにフレームのリアセンサーを広くできるように設計されています。

177mm

従来のMTBと角寸

E8080シリーズの特徴ですが、アシストバイクコンポーネントの心臓部となるモーターユニットには、ベースとなるE8000シリーズに求められた自然なペダリングフィールを実現させるための様々な工夫が取り入れられています。

ペダリングの力を素早く正確に感知するセンサー類、アシストのないスポーツバイクと同じフレームレイアウトが実現できるコンパクトなデザイン等スポーツバイク用としての高い実力を持っています。

そしてバッテリーシステムもコンパクトな外観ながら500Whという大容量を実現しノーマルモードで100kmを超える航続距離を提供します。



自転車の楽しみ方は、「使い方（競技・スポーツなどでの利用と街乗りなどの一般的な利用）」と「使う場所（オフロード：舗装されていない道路とオンロード：舗装された道路）」に大きく分類することができます。

左の図は、自転車の楽しみ方をシマノのアシストバイクコンポーネントにあてはめて、これを示したのになります。日本においては舗装状態の良い道路も多いことからオンロードでの利用を意識し、これまで避けがちな山越えコースのサイクリングや、急な坂道のある長距離通勤など、どなたでも気軽なエクササイズとしてアシストバイクを楽しんでいただきたいと思います。



CYCLE MODE international 2017への出展

シマノは、千葉市の幕張メッセで開催された、日本最大級のスポーツ自転車の祭典であるCYCLE MODE international 2017（2017年11月3日から5日の3日間）に今年も出展しました。

世界中のスポーツバイクの最新モデルが展示され、自転車の性能を十分に体感できる試乗コースを兼ね備える等、体感型のスポーツバイクフェスティバルであることが特徴です。

シマノは、新製品をはじめ自転車用品を展示し、その中でも日本市場向けアシストバイクコンポーネントのE8080シリーズについては、来場された方々から、その特徴や仕様に関するご質問をいただき熱心に耳を傾ける皆様の姿がとても印象的でした。

欧州を中心に人気が高まるスポーツアシストバイクは、日本においても関心が高まりつつあります。

新しい自転車の楽しみ方の一つとしてのスポーツアシストバイクを発信し、この出展を契機に自転車文化をさらに広げていきたいと思っています。

『永遠に変わらない滑らかな巻きごこちを求めて。』 シマノスピニングリールの最高峰STELLAモデルチェンジ



近年、人々の健康志向の高まりからレジャーとしての「釣り」が注目されています。

その中でシマノのフラッグシップモデル「STELLA」はトップクラスのスピニングリールとして広く認知されています。毎年、モデルチェンジを心待ちにしているファンの皆様へお応えするため、最近のトレンドであるライトショアジギング（岸からルアー（疑似餌）を使った釣り）やライトソルトゲーム（小型の魚を狙ったルアー釣り）に対応したラインナップをそろえ、『より滑らかに、より強く』というコンセプトを高い次元で実現しつつ高輝度が特徴となる流麗なデザインへとモデルチェンジします。



初代「STELLA」から9代目にあたる今回のモデルには、シマノ独自の新たな歯面設計理論とそれを忠実に再現する精密冷間鍛造技術により従来の「STELLA」を超える滑らかな巻きごこちを実現させ、駆動関連部品の見直しにより部品間のガタ付きやノイズを徹底的に排除しました。

今回新たに搭載された「HAGANEギア」は、材質を変えずに設計の見直しを行うことにより強度を向上させワンサイズ上のリールギア強度となりました。また、ラインローラー部とポディー部を見直し、撥水効果とラビンス構造を複合することで、回転の軽さを損なわずに高い防水性能を発揮します。

鯛ラバを使った真鯛釣り



多くの日本人にとって魅力的な魚である「真鯛」。料理して食べるだけではなく、釣り人にとっても魅力的な魚です。釣り方の種類も餌を使った釣りやルアーを使った釣り等幅広く存在し、特に近年「鯛ラバ」と呼ばれるルアーで真鯛を狙う釣り愛好家が急増しています。鯛ラバを使った釣りは難しい操作を必要とせず、手軽に「真鯛」と出会える釣りとして初心者から上級者まで幅広い釣り人の方々が楽しんでいます。

シマノでもこの釣りの流行に合わせて「炎月シリーズ」のロッド・リール・ルアーを展開してきましたが、2018年新たに「Xシート エクストリームガングリップ」「フォールタイラバ」という2つの提案とともに、鯛ラバ関連の新製品として、

ロッド「炎月リミテッド」、リール「炎月プレミアム」、ルアー「炎月フラットバクバク」を発売します。

ロッド「炎月リミテッド」には、人と道具の接点となるグリップ（手で握り込む部分）に対する究極の握りごこちを追求した左右専用形状の「Xシート エクストリームガングリップ」と呼ばれるシマノオリジナルの新形状ガングリップを搭載し、他にはない高い付加価値を備えた商品をラインナップしました。

また、鯛ラバの基本動作は巻きだけでなくフォール（ルアーの落下時）にもあることに着目した鯛ラバの新メソッド「フォールタイラバ」用のタックルとして、ルアーを落とす時の速度をコントロールできるフォールレバーを備えたリール「炎月プレミアム」とフォール時に独自の動き方で真鯛を誘うルアー「炎月フラットバクバク」も併せて発表し、高い評価をいただいています。



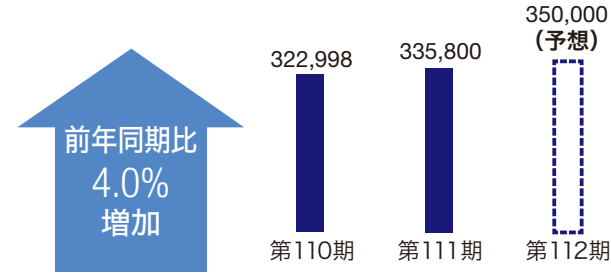
欧州の釣具ショーでベスト・ニューリール賞を受賞

2017年6月、今年で36回目となる欧州最大の釣具ショー EFTTEX（European Fishing Tackle Trade Exhibition）がハンガリーの首都ブダペストで開催されました。EFTTEXは釣り業界の関係者向けの展示会で、ベスト新製品コンペティションは展示会のハイライトとなります。

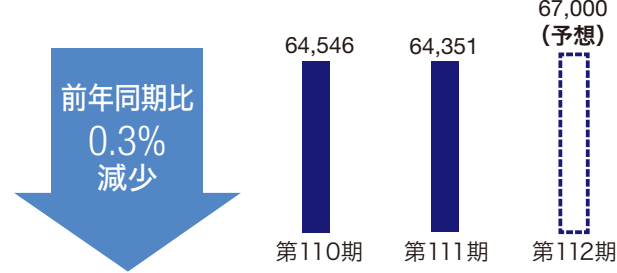
3日間の開催期間中に約2,000人の方々が来場され、シマノの新製品に対して多くの反響をいただきました。そのような中、「TWIN POWER XD」が、その年の目立った新製品を対象に贈られる「Best New Fixed Spool Reel 2017」を受賞しました。

今回の受賞を契機として、これからも魅力ある製品づくりを続けるとともに、釣り文化をさらに広げていきたいと思っています。

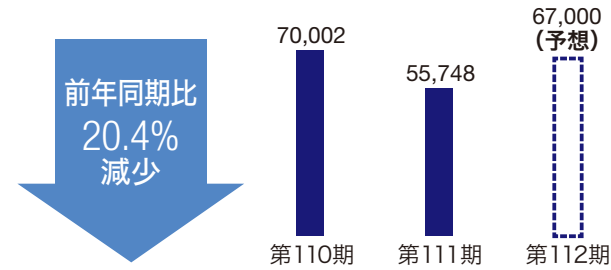
連結売上高 (単位: 百万円)



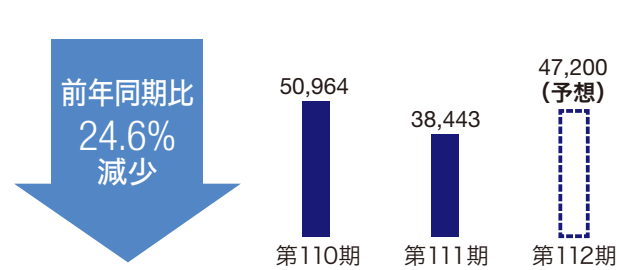
連結営業利益 (単位: 百万円)



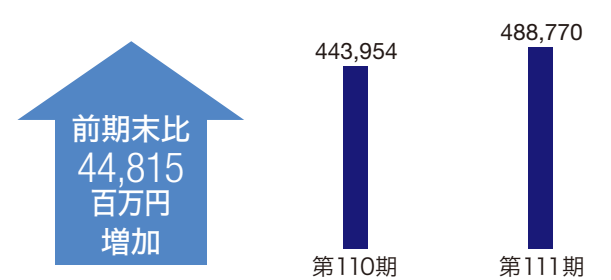
連結経常利益 (単位: 百万円)



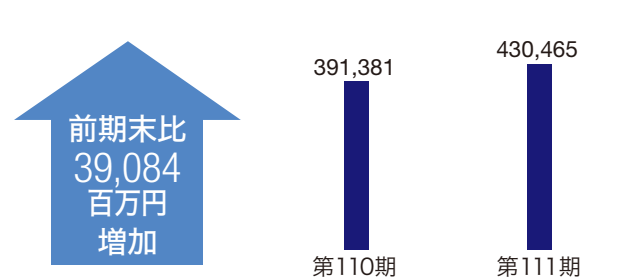
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 百万円)



連結総資産 (単位: 百万円)



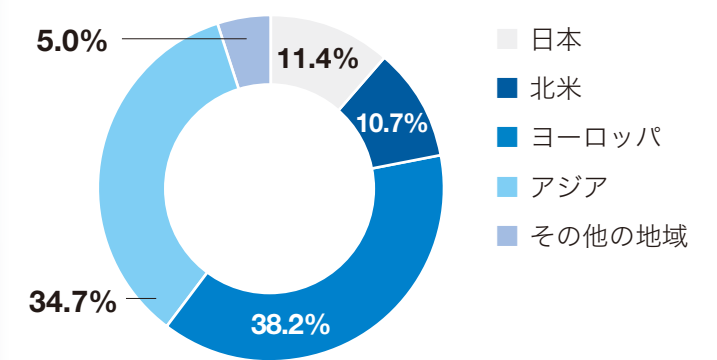
連結純資産 (単位: 百万円)



■ 地域別売上高の状況 (単位: 百万円)

	第110期	第111期
日本	37,004	38,305
北米	35,215	35,770
ヨーロッパ	123,009	128,347
アジア	113,517	116,513
その他の地域	14,251	16,863

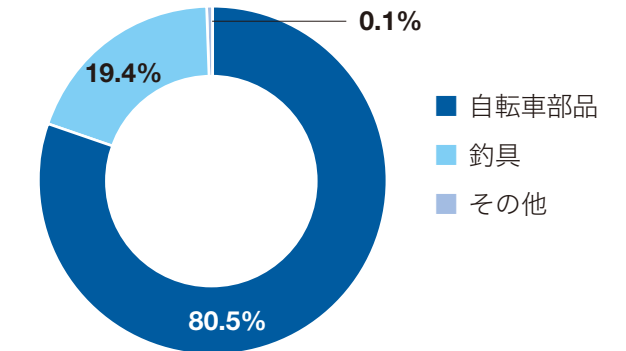
地域別売上高比率(第111期)



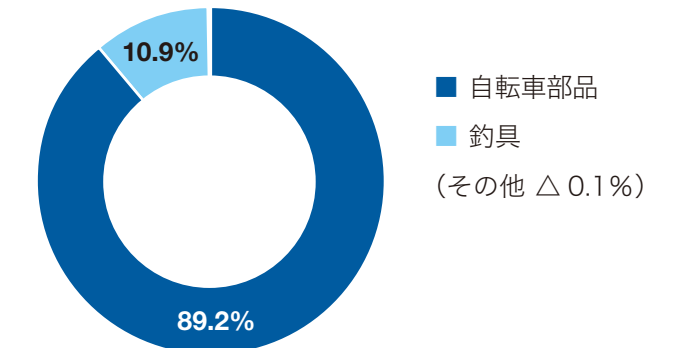
■ セグメント別売上高と営業損益の状況

第111期	売上高 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)	営業損益 (単位: 百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	270,206	4.1%	57,410	△ 0.8%
釣具	65,220	3.3%	7,013	2.5%
その他	373	△ 6.5%	△ 72	—%

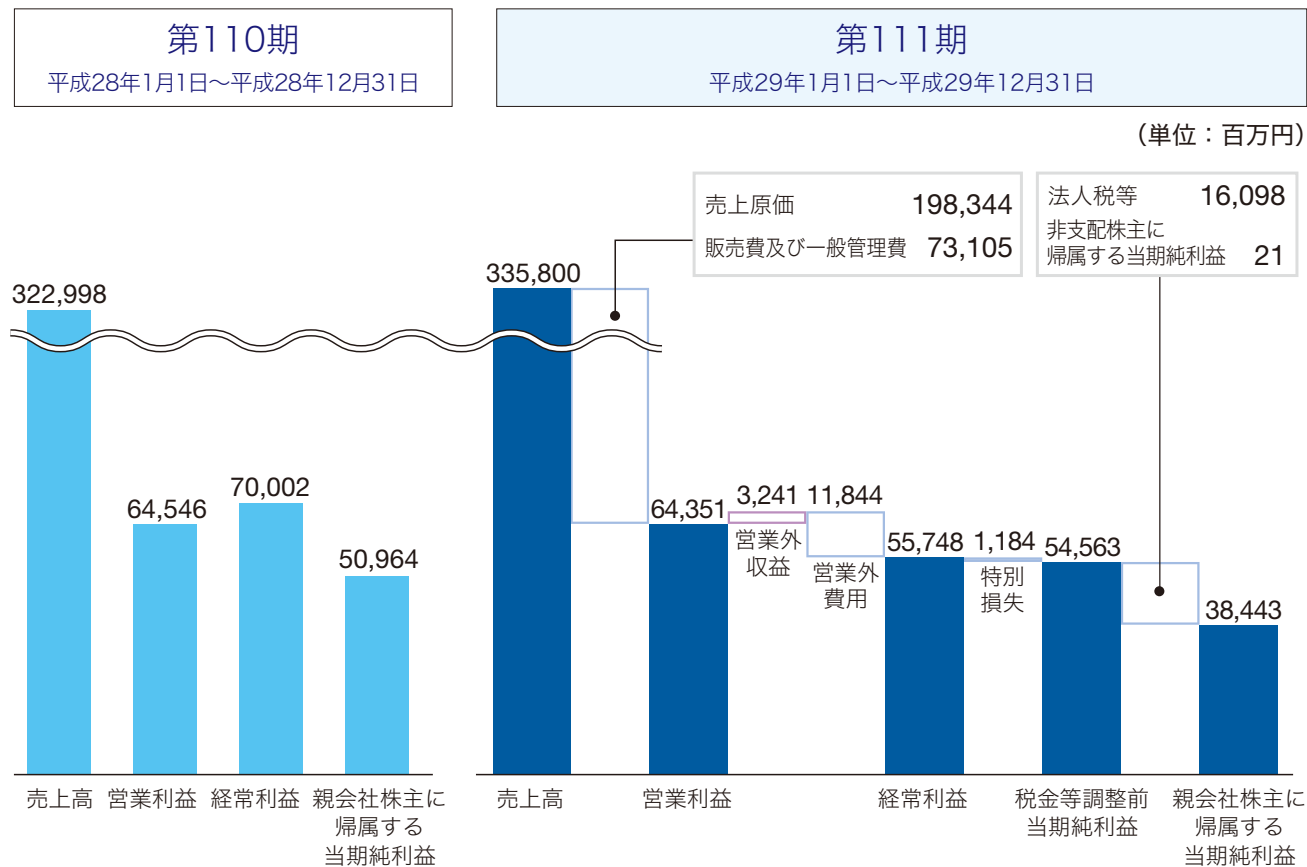
セグメント別売上高比率(第111期)



セグメント別営業利益比率(第111期)



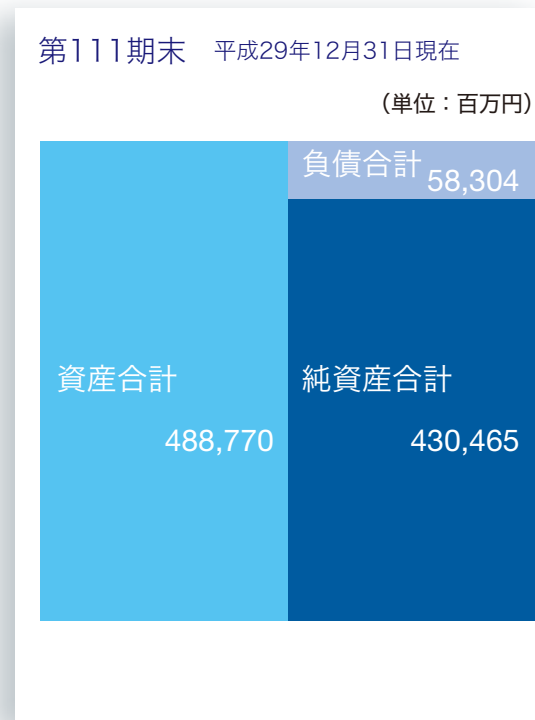
■ 連結損益計算書（要約）



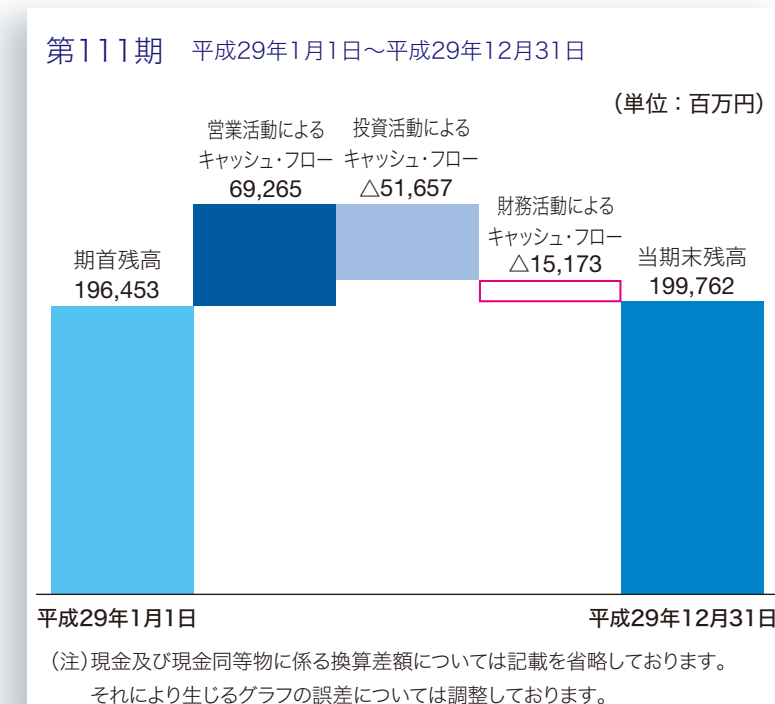
第112期予想(連結)

業績予想		セグメント別売上高予想	
売上高	3,500 億円 前年同期比 4.2%増	自転車部品	2,825 億円 前年同期比 4.5%増
経常利益	670 億円 前年同期比 20.2%増	釣具	670 億円 前年同期比 2.7%増
親会社株主に帰属する当期純利益	472 億円 前年同期比 22.8%増	その他	5 億円 前年同期比 33.9%増

■ 連結貸借対照表（要約）



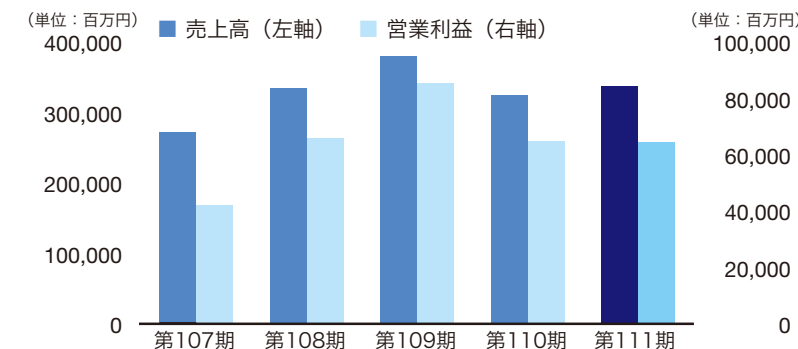
■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）



売上高と営業利益の推移

第111期の売上高・営業利益は、自転車部品事業では各コンポーネントのモデルチェンジや追加モデルが好評だったことから売上は前期を上回ったものの、研究開発費等の投資が先行し足許の営業利益は前期を下回りました。

一方、釣具事業では国内市場、アジア市場での販売が好調であったことから増収増益となりました。



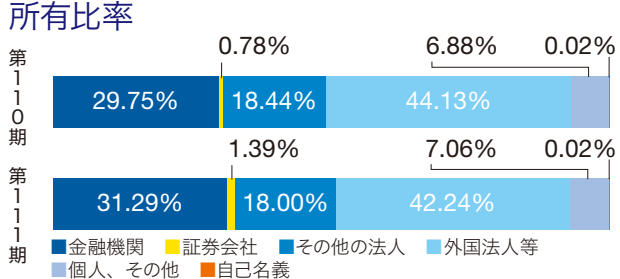
社名 株式会社シマノ
 英文社名 SHIMANO INC.
 創業年月 大正10年(1921年)2月
 設立年月 昭和15年(1940年)1月
 資本金 35,613百万円
 従業員数 1,299名
 事業内容 自転車部品、釣具、ロウイング関連用品等の製造販売
 本社 〒590-8577
 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
 URL <http://www.shimano.com>

役員			
代表取締役社長	島野 容三	取締役	樽谷 潔
代表取締役副社長	角谷 景司	取締役	人見 康弘
専務取締役	和田 伸司	取締役	チア チン セン
常務取締役	湯浅 哲	取締役	松井 浩
常務取締役	平田 義弘	取締役	大津 智弘
常務取締役	島野 泰三	社外取締役	一條 和生
常務取締役	津崎 祥博	社外取締役	勝丸 充啓
常務取締役	豊嶋 敬	常勤監査役	島津 孝一
		常勤監査役	勝岡 秀夫
		社外監査役	松本 五平
		社外監査役	野末 佳奈子

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	3月	株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
基準日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日	事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 (http://www.shimano.com) ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	電話照会先	☎ 0120-782-031
		ホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
		証券コード	7309

- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式の総数 92,720,000株
- 株主数 8,534名
- 単元株式数 100株



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
湊興産株式会社	7,665	8.27
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,559	4.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,195	4.53
太陽工業株式会社	4,060	4.38
JP MORGAN CHASE BANK 380072	2,761	2.98
株式会社スリーエス	2,171	2.34
日本生命保険相互会社	2,098	2.26
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,066	2.23
GIC PRIVATE LIMITED-C	1,714	1.85
株式会社りそな銀行	1,711	1.85

(注)持株比率は自己株式(17,276株)を控除して計算しております。

